



春里中学校

学校だより 令和5年度 5月号

TEL 048-683-3458

FAX 048-683-8979

学校教育目標

自ら学ぶ生徒
思いやりのある生徒
健やかな生徒

「置かれた場所で咲く努力を」

校長 小倉 弘一

ノートルダム清心学園の理事長を務めた渡辺和子さんの著書に、200万部を超えるベストセラーとなった「置かれた場所で咲きなさい」という作品があります。彼女は、36歳という異例の若さでノートルダム清心女子大学の学長を任されました。多くの問題に直面した際に、ある宣教師から渡された短い英語の詩の冒頭「置かれたところで咲きなさい」という言葉と出逢ったそうです。

神が置いてくださったところで咲きなさい。

仕方がないとあきらめてではなく咲くのです。

咲くということは、自分が幸せに生き、他人も幸せにすることです。

咲くというのは周囲の人々に、あなたの笑顔が、私は幸せなのだということを示して生きることなのです。

神が私をここに置いてくださった。それは、すばらしいことであり、ありがたいことだと、あなたのすべてが語っていくことなのです。

置かれたところで、精一杯咲くと、それがいつしか花を美しくするのです。

(ラインホールド・ニーバーの詩)

この詩に出会った渡辺さんは、

「置かれた場所で不平不満を持ち、他人の出方で幸せになったり不幸せになったりしては、私は環境の奴隷でしかない。私は人間としてどんなところに置かれても、その環境の主人となり、自分の花を咲かせようと決心ができました。」と述べています。新しい年度が始まり、大きく変化した生活環境に戸惑っていたり、絶望や不満を感じていたり、以前のやり方や環境にこだわったり、やる気を失ったりしている人もいるかもしれません。

しかし、私の経験では、世の中、自分の思う通りにいくことの方が少ないものです。絶望に苛(さいな)まれたり、不平不満を言動に表したりする気持ちも分かりますが、「自分に与えられた環境や状況の中で、自分の最善を尽くそう」と、前向きに考える方が、明るい生き方であり、現実的な解決方法ではないでしょうか。

令和5年4月1日以降の学校におけるマスク着用の考え方の見直しについて

国のコロナ対策本部により、マスク着用の考え方の見直しが図られ、マスクの着脱は個人の判断に委ねられることになりました。

このことを踏まえ、4月1日以降のさいたま市立学校においても、マスクの着用を求めないことを基本といたしますので、マスクの着脱については各ご家庭で話し合ってくださいようお願いいたします。

なお、感染不安を抱き、マスクの着用を希望する児童生徒や、健康上の理由によりマスクを着用できない児童生徒もいることなどから、日常の様々な場面で、本人の意思に反して着脱を強いることのないよう留意することが大切です。学校教育においては、子どもたち一人ひとりに寄り添い、児童生徒の間でもマスクの着用の有無による差別・偏見等がないように適切に指導してまいりますので、引き続きご理解をお願いいたします。

また、各学校において実施が予定されている行事では、来賓や保護者の皆様につきましても、マスクの着用を求めないことを基本といたします。

